

2009年1月30日

国産材を活用し地震エネルギー吸収効果を高めた  
壁倍率「5.0」の耐力壁を新開発  
～ 長期優良住宅を見据え、更なる耐震性能の向上を実現 ～

住友林業株式会社（社長：矢野龍 本社：東京都千代田区）と住友ゴムグループのSRIハイブリッド株式会社（社長：福本隆洋 本社：兵庫県神戸市中央区）は、国産材を活用し地震エネルギー吸収効果を高めた耐力壁「地震エネルギー吸収パネル」を共同開発しましたのでお知らせします。高剛性・高減衰ゴムを使用したパネルで壁倍率「5.0」の国土交通大臣認定取得は日本初となります。

木造以外の他構法と比較しても高い耐震性能を発揮する「住友林業の家」独自の「MB（マルチバランス構法）」に「地震エネルギー吸収パネル」を採用することで、基本的な耐震性能をさらに向上させるだけでなく、度重なる地震に対しても壁倍率「5.0」の性能を保ち続けます。

木造住宅のトップブランドである「住友林業の家」は「長期優良住宅の普及の促進に関する法律」施行に伴うストック住宅社会形成に向けて、また、住まわれるすべてのご家族に更なる安心・安全をご提供するために努力してまいります。

[開発経緯]

地震災害は地域や時間を選ばず突如として発生するものであり、その予測不能な自然の力がもたらす災害への備えは非常に大切です。昭和56年の建築基準法施行令改正における新耐震設計基準の導入や、平成12年の「住宅の品質確保の促進等に関する法律(品確法)」施行により、住宅の耐震性の確保は進められてきましたが、国土交通省によると既存住宅ストック（約4,700万戸）のうち、約25%にあたる1,150万戸の耐震性が不十分と推計しており、耐震性を確保した住宅の促進が求められています。

今回発表します「地震エネルギー吸収パネル」は、地震エネルギーを熱エネルギーに変換・放出する特殊な**高剛性・高減衰ゴム**の特性を生かしたパネルですが、その主な利点は、次のとおりです。

1. 巨大地震時において建物変形量を最大で約70%低減する働きを有することで、柱・梁等の主要構造部材の損傷を抑制。
2. 高剛性・高減衰ゴムの変形によるエネルギー吸収性能によって、「地震エネルギー吸収パネル」そのものの損傷を抑えることから、日常的に発生する中小地震だけでなく、巨大地震後に発生するケースが多い余震に対しても、地震エネルギーの吸収性能を発揮し続けます。

以上により、シンプルな構造でありながら、メンテナンスフリーで長期にわたり地震発生による建物の損傷を最小限にとどめる性能を持っていることから、「住友林業の家」を超長期にわたり保有する価値や資産性を更に高める技術開発と言えます。

- 1) パネル名 : 地震エネルギー吸収パネル
- 2) 設定 : MB（マルチバランス）構法 2階建て 標準設定
- 3) 採用時期 : 平成21年2月

[参考資料へ](#)

《本件に関するお問い合わせは、下記にお願いいたします。》

住友林業株式会社

コーポレート・コミュニケーション室 佐野・野澤

TEL：03-3214-2270

FAX：03-3214-2272

《超高減衰テクノロジー「GRAST」に関するお問い合わせ先》

住友ゴム工業株式会社 広報部

橋本・千秋（せんしゅう） TEL：03-5546-0113

林 TEL：078-265-3004